

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	クリティカル・ロジカルシンキング		
担当者(Instructors)	船木 恵一	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)			
<p>「言いたいことをうまく伝えられない」「伝えているつもりだが相手に理解されない」こんな経験はありませんか？ この授業は「ものごとをどう考えるべきか」「考えをどのように表現するか」「他者の考えをどう理解するか」「説得力のある説明とは」を学ぶ科目です。課題解決、戦略立案、企画提案、プロモーション施策立案など、社会において役立つ実践的なスキルや思考法を身に付け、コンサルティングやセールス能力の向上を目指します。修了後には、最低でも自分の考えが妥当か、わかりやすいかを事前事後に考える習慣が身につく、しっかり習得した学生は、より良い考え方や表現力が身につきます。この授業はメディア方式で行います。対面授業は第1回のオリエンテーションと第12・13・14・15回のワークショップ形式のみ。第2回から第11回はオンデマンド方式で行います。オンデマンド方式では学生が好きな時間に授業資料にアクセスし、課題に取り組み提出するものです。</p>			

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	<p>オンデマンド方式では、毎週テーマに沿った資料スライドと課題をTeamsから配信します。学習時間は学生が自由に選択できますが、課題は期限を設けますので、期限内に課題に取り組んでください。課題の提出とフィードバックもTeamsから行います。対面方式では、学生は数人のグループに分かれ、グループでのワークショップを行います。内容は、ケースストーリー（事例）を基にした、ディスカッションやグループ発表に取り組みます。</p>

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	※対面実施 オリエンテーション	学びの目的、授業概要、履修の進め方、課題提出とフィードバック、質問の仕方、成績評価方法、講師紹介など	□
第2回	オンデマンド① ロジカル・クリティカルシンキングとは？ 思考法の体系的理解	思考法にはどのようなものがあるのか。ロジカルシンキングとクリティカルシンキングの違い。思考法を体系的に理解する。また、その成果についても考える。	□
第3回	オンデマンド② 課題の整理、問題の本質をどのように捉えるべきか？ Part1	MECE、ロジック・ツリー、ピラミッド思考法、フローチャートなど、論理的思考の使用場面と使い方を理解する。	□
第4回	オンデマンド③ 課題の整理、問題の本質をどのように捉えるべきか？ Part2	各種フレームワーク、マトリックス思考、パワーポイントの図形テンプレートの意味について、使用場面と使い方を理解する。	□
第5回	オンデマンド④ 数字を使った分析を思考する	数字を用いた分析。確率・期待値・分布図などの使用方法。デシジョン・ツリーとは何か？	□
第6回	オンデマンド⑤ アイデアの抽出と整理方法を知る	ブレイン・ストーミング、KJ法、マーケティング・キューブなど、アイデアを導く手法と整理の仕方を学ぶ	□
第7回	オンデマンド⑥ 環境分析とは？ Part1	経営学やマーケティングに欠かせない環境分析の種類と使用方法を学ぶ。マーケティングの4P、3C分析、顧客RFM分析（顧客価値分析）について学ぶ	□
第8回	オンデマンド⑦ 環境分析とは？ Part2	経営学やマーケティングに欠かせない環境分析の種類と使用方法を学ぶ。5F分析・PEST分析・SWOT分析を理解する	□
第9回	オンデマンド⑧ プロモーションを考える	キャンペーンとは？ キャンペーン成功の3要素、顧客とのタッチポイント設計（カスタマージャーニー）を理解する。また、人を動かすクリエイティブ表現手法を考える	□
第10回	オンデマンド⑨ ビジネスモデルを考える	プロフィットモデルとは？ 企業収益を最大化するポイント、サービスやチャネル設計のポイントを理解する	□
第11回	オンデマンド⑩ クリティカルシンキング	アンコンシャス・バイアスやデザイン思考とは？ 他者理解が進む質問方法を理解する	□
第12回	※対面実施 ワークショップ① ブレインストーミング	実際にブレイン・ストーミングによりアイデア出しと整理を体験する	□

第13回	※対面準備 ワークショップ② ビジョン発想	ブランド・キャップ、ニュース・ヘッドラインなど、大きな戦略やブランド価値の見直し討議を体験する	<input type="checkbox"/>
第14回	※対面準備 ワークショップ③ クリシン体験	人事部長の推薦状を用いて、社内文書作成における、ありがちな問題点と留意すべきポイントを討議する	<input type="checkbox"/>
第15回	※対面準備 授業まとめ、グループ発表	授業まとめとグループ討議（発表）	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

毎回、授業スライド以外に参考文献やインターネット検索等で予習を行う（2時間）。課題提出後は、フィードバックを参考に授業スライドの見直しや関連知識を自ら補うなど、各自で復習する（2時間）。オンデマンド期間中は予習復習を通じてテーマに関する理解をさらに深め、自己の課題を明確化してください。後半の対面授業期間ではワークショップに備えて、テーマに関する検索やグループ発表の準備に充当してください。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回Teamsを使用して課題の提出を受け付け、フィードバックを行います。提出された課題は、添削や採点を行い戻します。質問は随時チャットで受け付けます。また、告知されたオフィスアワーを利用して研究室での面談も可能です。希望者はアポイント要請をしてください。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019全学共通DP2	論理的思考方法、批判的な思考方法に関する基礎的な知識と講義での体験を通じて、創造的に考えたうえで、様々な課題についての的確に判断し、自在に表現、発信することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

オンデマンド期間（第2回～11回）において、10回の課題提出状況（期限・内容）を採点します（各回100点×10回） 50%
 その他とは、対面授業期間（第12～15回）において、4回にわたるワークショップへの参加・貢献度、グループ発表やプレゼンテーション評価等を総合的に評価します 50%

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	テキストはありません。講師が必要に応じて資料を用意します	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	外資系企業の3Step思考術 森英明 ダイヤモンド社	978-4-478-06615-7
2	ロジカルシンキング教室 グロービス嶋田毅 PHP研究所	978-4-569-79674-1
3	クリティカルシンキングの教科書 山中英嗣 PHP研究所	978-4-569-79781-6
4	アイデア入門 狐塚康巳 宣伝会議	978-4-88335-280-7

5	アイデア・メーカー 山口孝弘 東洋経済新報社	978-4-492-55755-6
---	---------------------------	-------------------